遠航一覽續輯

第一卷

箭内健次 編

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日

所迄來聘有之ゟ間、爲心得相達ゟ、右之趣席達、

御三家

御代替ニ付、朝鮮信使來聘之儀、於大坂御城聘禮相整ゟ樣、彼地ゟ被仰遣ゟ處、承引之趣申來ゟニ付、來辰年同所へ可爲來聘ゟ、此段申上ゟ樣被仰出ゟ、

「白藤雜筆」

嘉永壬子五年十月廿二日、文恭院殿御代替により信使來聘を仰出されしか、近年諸國凶荒かつ西城炎上等により、延期の事を令せらる、

嘉永五壬子年十月廿二日阿部伊勢守渡御書付、

大目付ゟ

御代替ニ付、朝鮮之信使來ル辰年大坂迄來聘ゟ儀被仰出ゟ處、近年諸國凶荒も不少、其上此度西丸炎上ニ付ゟハ、彼是御事多にも有之ゟニ付先御差延、年期を追ゟ可被仰出ゟ、

右之趣向々ゟ可被相觸ゟ、

十月

「御書付留」

○潛商刑罰

天保七丙申年六月、松平周防守康爵家人及び徒黨の族、朝鮮國竹島に於て潛商の事顯れ、大坂町奉行矢部駿河守より寺社奉行井上河内守正春に引渡し、公裁畢て、同年十二月廿三日各嚴科に行はれ、下野守康任もその咎により蟄居を命せらる、

天保七丙申年六月、朝鮮國持竹嶋ゟ致渡海ゟもの共、今般大坂町奉行より寺社奉行井上河内守ゟ引渡ニ相成、水野越前守殿御掛

石州濱田
廻船問屋
會津屋清助死

右條
異名金清事
八右衞門

右之親清助と申もの、先年濱田屋敷用達名絶ゟ處、六ケ年以前悴八右衞門願出ゟ儀を、年來親御高恩を請、其上多くも御損毫掛置ゟ間、爲冥加濱田沖竹嶋と申所に魚澤山ニ付漁被仰付ゟハゝ、年々御運上可差上旨、江戸表屋敷ゟ願出ゟ處、聞濟ニ不相成、八右衞門も濱田ゟ御差戻しニ相成ゟ處、押ゟ在所にて取計ゟ趣、右竹嶋と申ハ濱田領沖合之嶋にて、朝鮮國ゟ向寄之嶋にて無人嶋ニゟ間、濱田領より右嶋ゟ押渡り、日本之刀劍之類其外魚漁舟ニ乗込、漁船之姿にて異國人と交易いたしゟ由、刀劍を江戸并諸國より買集、道中筋を濱田用物之會符を相用ひゟ、

捕方遣し近日着之者共

石州濱田
松平周防守家來
家老
岡田頼母

年寄
松井圖書

嶋崎悔五郎
橋崎百八郎

右頼母ゟ來
橋本三兵衞
林品右兵衞

石州濱田
中嶋町
玉屋惣兵衞支配借屋
中玉屋
庄助

同
江之子嶋東町
長門屋伝藏借屋
播磨屋
藤五郎

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日

江戸橋町
刀鞘斎兵衛借屋
大黒屋　定　七

同富澤町
大津屋茂兵衛借屋
清左衛門

大坂
海道堀川町
伊勢屋　與　兵　衛

右之者共水野越前守殿より井上河内守ゟ御験儀被仰渡ゟ、
以上

大坂町奉行矢部駿河守より寺社奉行井上河内守ゟ引渡ニ相成ゟ名面

六月十日

松平右近將監領分
石州濱田松原新田
會津屋きく方ニ
無人別ニゟ罷在

ゟ
當時無宿金清事
八右衛門　五
申三十九　之
松平周防守御預り所
讃州多賀郡小豆嶋　巻
高木村
船乗
平　助
申四十九
一通尋之上
入牢

同
平右衛門
申六十三

大坂安治川町二丁目
播磨屋善右衛門借屋
善　兵　衛
申七十

松平安芸守領分
藝州豊田郡
諸江町瀬戸物町
松原

新　兵　衛
申三十七

右於井上河内守宅、同人申渡之、

六月十四日

松平周防守家來
大谷作兵衛
三村五郎右衛門
村井荻右衛門

一通尋之上
揚屋ゟ遣ス

右於前同人宅、同人申渡之、
以上

同月十四日松平周防守御屆、

昨十三日私家來大谷作兵衛三村五郎右衛門村井荻右衛門と申もの、井上河内守尋有之ゟ間、同道人差添差出可申旨ニ付差遣ゟ處、尋之上吟味中揚屋ゟ申付ゟ段、家來之者今日申渡有之ゟ間、此段御屆申上ゟ、以上、

六月十四日　松平周防守

右書面御用番水野越前守殿ゟ差上之、

七月九日

吟味中石川
日向守ゟ御預

吟味中伊東
播磨守ゟ御預

（大谷作兵衛
三村五郎右衛門
村井荻右衛門）

（八右衛門
平　助）

右前同人宅ニをゐて同人申渡之、

屆書

周防守家來八十郎、隱居岡田秋齋、松井圖書儀、去月九日井上河内守様より御呼出御座ゟニ付、早速濱田表ゟ申遣ゟ處、同廿八日夜秋齋儀自殺仕相果、圖書儀ゟ同廿九日曉是又自殺仕相果ゟ旨申出ゟニ付、役人共差遣し相改ゟ處、自殺相違無御座ゟ旨濱田表役人共より申越ゟ、御呼出し身分右様之始末ニ至ゟ付、周防守差扣之儀、昨夜御用番松平伯耆守様ゟ相伺ゟ處、先差扣ニ不及ゟ段、今日以御附札被仰出

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日

ハ、此段申上ハ、以上、

七月廿一日　松平周防守家來　大草權太夫

七月廿八日　橋本三兵衛

八月朔日　會津屋きく

同月四日　嶋崎梅五郎

吟味中
揚屋ニ遣ス

右之通前同人宅ニおゐて、同人申渡之、

以上

右之外ニも猶又石州濱田表ニ捕方被差遣ハ由、

七月十九日松平周防守御屆

私家來八十郎、隱居岡田秋齋、松井圖書、嶋崎梅五郎、檜崎百八郎、八十郎召仕橋本三兵衛と申者、早々呼出し着次第可申聞旨、井上河内守より家來之者共ニ相達ハ付、去月九日急飛脚を以申遣ハ處、同廿一日濱田表ニ相達、則就夫出府之義申付、同廿七日より出府之積御座ハ處、秋齋儀ニ廿五日より中暑、圖書儀ニ廿六日より腹痛熱気強く、兩人共出府難相成、其内少々快ハ付押ゑ當月朔日兩人共出府之積り夫々用意仕ハ處、去月廿八日夜半頃秋齋儀自殺仕相果申ハ、圖書儀ニ同廿九日晩是又自殺仕相果ハと申出ハニ付、早速役人共差遣相改ハ處、相違無御座ハ旨、濱田表より急飛脚を以申越、昨午刻相達ハ付、秋齋圖書斑所改書付、岡田八十郎圖書右隱居遊山口上書いたし差出ハ付、相添河内守ニ御屆申ハ、依之此段御屆申上ハ、以上、

七月十九日　松平周防守

右之御用番伯耆守殿（松平家親）ニ御掛加賀守殿ニ差出ハ由、

秋齋　七十四才

圖書　三十四才

此外度々御呼出も有之、且酒井修理大夫ニ御預ケ之

ものも有之由ニハ得共、名前委細不得承ハ、

申十二月廿三日

死罪

石州松原浦無宿　八右衛門

松平周防守家來　岡田八十郎召仕　橋本三兵衛

預置木品此外取上中追放

大坂安治川町南壹丁目　吉兵衛

新戎町　源藏

輕追放大坂三構江戸拂

橋町　定七

庄助

役儀取上押込

松平周防守家來　家老　松平亘

宗對馬守家來　松村但馬

松平周防守家來　勘定頭　大谷作兵衛

元〆役　三津六郎右衛門

嶋崎梅右衛門

谷口勘兵衛

三宅辨柄介

助代銀取上急度叱り

新戎町　平藏

彦兵衛

口錢取上急度叱り

富田屋町　清右衛門

利作

急度叱り

松平周防守家來　岡田八十郎召仕　松浦仁右衛門

右周防守家來　南安右衛門名代　吉江秀右衛門

石州松原浦

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日

過料三貫文

き　く

松平周防守家來　大岡權左衛門
林品右衛門
大塚鐵藏
齋藤與左衛門
櫓崎百八郎
村井荻右衛門
増山河内守家來　大森許吉
大坂海邊堀川町　與兵衛
同天滿壽丁目　嘉兵衛
讃州小豆嶋馬木村船乘　重助
藝州諸江嶋瀬戸田村船乘　平右衛門
新兵衛

右於評定所一座掛井上河内守筒井伊賀守御目付水野采女立合、河内守申渡之、

松平下野守

其方儀元領分石州松原浦ニ罷在ハ八右衛門竹嶋ハ渡海目論見、自分之儀家來共聞請彼是取計ハ儀ニ不存由ハ得共、重キ御役中之儀、領分取締向等別而嚴重ニ可申付ハ處、無其儀、既ニ八右衛門其外之もの共渡海いたし、右躰家來共不屆之取計いたしハを更ニ不存罷在、殊ニ松平亘より宗對馬守記錄書抜一覽ニ差出ハ節、何故右嶋穿鑿ニ及ひハ哉之段相糺ハ心附も無之、不束之事被思召ハ、依之永蟄居被仰付之、

右松平周防守宅ハ大目付村上大和守相越、下野守ニ申渡之、阿部能登守鳥居丹波守立合、

「竹島一件」

同八丁酉年二月廿一日去年國禁を犯し朝鮮所屬

竹島に渡海せし輩を悉く罰せられ、以降國々の廻船同島と勿論洋中にをいて異船に近つくましき旨普く令せらる、

天保八丁酉年二月廿一日

今度松平周防守元領分石州濱田松原浦ニ罷在ハ無宿八右衛門、竹嶋ハ渡海いたしハ一件、吟味之上右八右衛門其外夫々嚴科ニ被行ハ、右嶋往古ハ伯州米子之者も渡海魚漁等致ハ得共、元祿之度朝鮮國ハ御渡しニ相成ハ、以來渡海止被仰付ハ場所ニ有之、都ふ異國渡海之儀と重き御制禁ニハ余、向後右嶋之儀も同樣相心得渡海致ましくハ、勿論國々之廻船等海上ニをゐて、異國船ニ出會さる樣乘筋等心かけ可申旨、先年も相觸ハ通り彌相守、以來八可成丈遠沖乘不致樣乘廻り可申ハ、

右之趣、御料と御代官、私領と領主地頭より浦方村町とも不淺樣可屬知ハ、尤板札ニ認高札場等ニかけ置可申もの也、

二月

右之通可被相觸ハ、

右御書付肥後守殿幸侍る長崎御渡之旨、御目付被相觸之ハ、

「御徒方萬年記」

同年三月二日窃に竹島に渡海せし周防守康勝家人をはしめ、徒黨の輩を裁斷せし御勘定吟味役評定所留役等に物を賜ふ、

同年三月二日御勘定吟味役評定所留役等巻物及ひ白銀を賜ふ、是かの御用取扱の事を命せらるによりてなり、

天保八年三月

巻物三

御勘定吟味役
中野又兵衛

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日

松原浦無宿八右衛門竹嶋ニ致渡海ゆ一件、吟味取扱ゆニ付被下之、

右於御右筆部屋縁頰、老中列座伯耆守申渡之、

評定所留役
御勘定組頭
豐田藤之進

銀七枚

寺社奉行吟味物調役
大熊善太郎
都筑平蔵

同五枚宛

御勘定評定所留役
關保右衛門
山本新十郎

同断ニ付被下之、

右於同席同人申渡之、

支配勘定出役
評定所留役書物方
脇田平左衛門

銀三枚

松原浦無宿八右衛門竹嶋ニ渡海いたしゆ一件、吟味取扱ゆ付被下之、

右於蠟火間主膳正申渡之、

［天保年録・御徒方萬年記］

○人参

天保十三壬寅年十二月廿九日朝鮮人参のこと享保年中より諸人救助のため作殖を命せられ、しハ〳〵仰出さるゝむねあり、

天保十三壬寅年十二月廿九日水野越前守渡

大目付ニ

朝鮮人参之儀、払底之品ニゑ高直成故、輕きもの及大病ゆゑも容易ニ用ゆ事難成ゆ付、享保年中より朝鮮種を以、人参作殖之義御世話有之ゆ處、次第ニ増長いたし當時ハ諸國ニゑ作覺、世上差支も無之趣ニゆ、公儀より作殖被仰付ゆ儀以來被差止、製法所ニゑ座賣相止ゆ、是迄ハ朝鮮種人参作ゆ儀、無謂ゆゑと不相成ゆ處、以來ゑ作ゆ儀ゑ勿論、賣買共可爲勝手次第ゆ、

右之通寛政二戌年十二月相觸ゆ處、享和三亥年三月、當分之内野州一國之儀ゑ不殘御用作ニ申付ゆ旨相達ゆ、以來又々人参払底ニゑ高価ニ相成、下賤之者共及難義旨相聞ゆ付、猶又向後ゑ寛政之度相觸ゆ通相心得、作ゆ義并賣買勝手次第ニゆ間、可成丈人参作増ゆ樣可被申付ゆ、

右之趣、下野陸奥出羽信濃越後國、御領ゑ御代官私領ゑ領主地頭より可相達旨、可被相觸ゆ、

十二月

［御書付留］

同十四癸卯年正月九日同人渡す

大目付ニ

朝鮮人参之儀払底之品ニゑ高直成故、輕きもの及大病ゆゑも容易ニ用ゆ事難成ニ付、享保年中ゑ朝鮮種を以人参作植之義御世話有之ゆ處、次第ニ増長いたし當時ゑ諸國ニゑ作覺、世上差支も無之趣ニゆ間公儀より作植被仰付ゆ義已來被差止、製法所々ニゑ座賣相止、是迄ニ朝鮮種人参作りゆ義無謂ゆゑと不相成ゆ處、以來ゑ作りゆ義ゑ勿論、賣買とも可爲勝手次第ゆ、

右之通寛政二戌年十二月相觸ゆ處、享和三亥年三月當分之内野州一國之義ハ不殘御用作ニ申付ゆ旨申達ゆ、以來又ハ人参払底にて高価ニ相成、下賤之もの共及難義旨相聞ゆに付、尚又向後ゑ寛政之度相觸ゆ通り相心得、作りゆ義并賣買勝手次第ニゆ間、可成丈人参作増ゆ樣可被申作ゆ、

右之趣下野陸奥出羽信濃越後國、御領ゑ御代官、私

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日

通航一覽續輯　第一卷

昭和四十三年四月二十日　發　行

全五卷　定價金三四、〇〇〇圓

編　者　箭内健次©
發行者　前田勝雄

製　版　兵庫縣津名郡津名町志筑
株式會社井村印刷所
印　刷　大阪市大野一丁目一の六
水樋堂印刷株式会社
製　本　大阪市天王寺區勝山通一
倉橋製本株式會社

發行所　大阪市南區二ツ井戸町一五番地
清文堂出版株式會社
電話(211)六二六五―六
振替大阪六二三八

National Diet Library ／ 国立国会図書館　2012年5月22日